



ごみ減量・資源化に関する
詳しいお問い合わせは
環境政策課
☎951-3231

ごみ減量 対H10年度比 25.8% 達成をめぐして



目標達成まであと6か月

那覇市のごみ焼却施設は昭和56年に完成し、1日3000トンのごみを処理する能力を持って動きました。しかし、その後のごみ量の著しい増加と焼却炉の老朽化にもない、集められた、全てのごみを焼却することができなくなり、近年では「もやすごみ」の一部を他の市町村や民間へ処理委託をさせていただきました。

このような状況を打開するため、市では「那覇市ごみ減量・資源化実行計画」を策定し、平成12年度から16年度までの5か年で、ごみを25.8%(対10年度比)減らすことを目標に、さまざまな事業を行ってきました。

これまでの取り組みにより、今年8月現在、23.6%の減量実績となつています。これは、市民・事業者のごみ減量行動の実践の結果です。みなさんのご協力に感謝申し上げます。

しかし、目標とする「25.8%減量」達成には、あと2.2%(約2600トン)の減量が必要です。それは市民一人が一日47gのごみを減らすことによって、実現できる数字です。

16年度は残り6か月。目標達成まで、市民・事業者のみなさんのご協力をお願いします。

ごみの減量で約3億円の経費削減

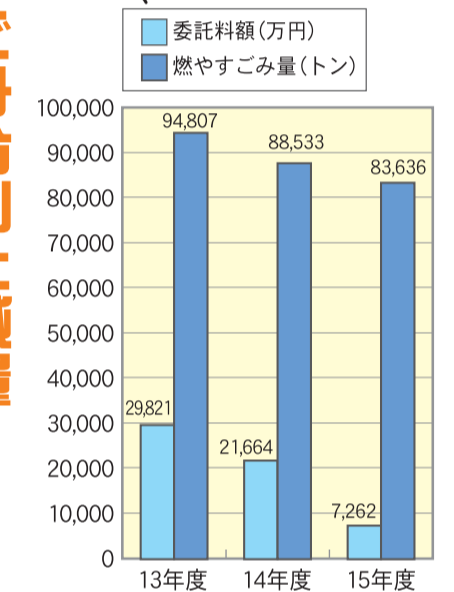
市では、平成12年度の途中までは、市の施設で容量を超えた焼却できない燃やすごみを(一日約40トン)南風原町にある最終処分場に埋め立て処理をしていました。しかしそれは、地元との覚え書きを無視した行為で、夏場は大量にハエが発生するなど、マスコミにも大きく取り上げられました。

このようなことがないように、平成12年度の途中からは、焼却できないごみを、近隣の市町村や民間業者に1トン当たり2万円で委託処理をしています。

委託費用は、13年度が約2億9821万円、14年度、約2億1664万円、15年度、約7262万円となつており、燃やすごみの量が減つたことで、13年度と比較すると2年間で約3億円の経費削減になっていきます。

ごみ減量に加え、分別がきちんとされてきたことも大きな要因となっております。(以前は、燃やすごみの中に、缶やびん

などが混ざり、炉が故障するなどのトラブルが発生しました。)



ごみ分別と減量・資源化で経費削減を

那覇市のごみ量は、15年度全体で9万4796トン、その内、事業系のごみは3

これまでの取り組み

事業系ごみ処分の手数料を10千口42円(税込)から63円(税込)へ引き上げ、平成16年8月現在で、23.6%減量です。残り6か月で目標達成だ!

平成14年4月より家庭ごみを有料化。有料化は、市民のみなさんのごみ処理に対するコスト意識を高めることによって、ごみ減量につなげることを目的にスタートしました。

ごみステーションから各家々の前にごみを置く「門前収集」へ。ごみの排出者も特定でき、分別が徹底されました。その他、「もやすごみ」や「そだごみ」として出していた草木ごみの資源化を実施しました。

万5592トン(約38%)になります。事業所から出されるごみには多くの紙類が含まれています。分別の徹底を図り資源化をすることで、経費削減につながります。
オフィスでの改善ポイント
オフィス内での分別の徹底を図るポイント。それは、職場内に個人用のごみ箱を置かないことです。
個人用のごみ箱があると、無意識の内に、缶やびん、資源化できる紙など、ごちや混ぜに入れてしまい、後での分別が面倒になり、そのままごみとして出してしまいがちです。分別を含めたオフィスごみの改善は、多くの企業が取り組み始めており、大きな成果をあげています。



家庭での改善ポイント

また、買った物には必ずマイ・バッグを持ち、ごみになるものは断るなど、日頃からごみを出さない生活を心がけましょう。
・お菓子の空き箱
・パンフレット・封筒
・ポスター・ティッシュの箱・カタログ
・画用紙・たばこの空き箱
・テーパーの紙袋
これらは、すべて雑紙として、下の写真のように「資源ごみ」に出してください。



10月 マイ・バッグ キャンペーン!

～環境にやさしい買物運動～
身近なところからごみ減量。買い物の際のレジ袋は意外とたまり、結局はごみになります。マイ・バッグを使うことで、ごみを減らしましょう。

環境フェア出展募集

開催日 平成16年11月28日(日)
開催場所 天久公園
出展基準 以下の項目に1つ以上該当していること。
1. 環境保全活動をしていること。
2. 環境に配慮した製品を製造又は販売していること。
3. ISO14001又はISO9001を認証取得していること。
4. その他、那覇市環境フェア実行委員会が適切と認めたもの。
申込期限 平成16年10月8日(金)
お問い合わせ 環境政策課 ☎951-3231

※ごみ減量には、ゴールはありません。引き続き、ごみの減量・再資源化にご協力ください。

目標達成!
(対10年度比) 25.8%



事業系ごみ処分の手数料を10千口あたり21円(税込)から42円(税込)へ引き上げ。

チャレンジ! 1人1日 47g(レジ袋5枚分)減量

「ごみ減量チェック票」では、「ごみの分別や減量を目的に、環境を意識して買い物や仕事をしてもらうためのもの」です。ここでは、あげるチェック項目は、口頭守つてほしいことです。すべて実施している家庭や会社は、さらに厳しく項目を設定して独自のチェック票を作ってみてください。

また、年間とおして同じ評価が続く場合や100%実施できた項目も、さらに見直しをしてランクアップに努めましょう。

自己評価	評価点	達成度
実施している	5	90%以上
ほぼ実施している	4	70%以上～90%未満
実施できたがやや不十分	3	50%以上～70%未満
あまり実施できていない	2	10%以上～50%未満
実施していない	1	10%未満
該当なし	-	-

※一日何g減量できたのかもチェックしてみよう。

オフィスごみ減量チェック票 (月分)

チェック項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
必要最小限の部数を作成する(コピー用紙の枚数を減らす)										
会社内の文書、会議資料などを活用する(電子メール、ファックス)										
封筒は使用しない。										
社内会議などで文書や書類を印刷しない。										
コピー機を使用したあとは、紙の回収ボックスに回収する。										
紙はリサイクル用紙を使用している。										
ボールペンは替え芯を使用し、鉛筆は短く削って再利用する。										
トナーカートリッジを再利用して使用する。										
個人のごみ箱は使用しない。										
マイ箸やマイコップなどを使用し、おみやげを出さないようにする。										
面会コピーをしない。										
「ごみは「もやすごみ」や「そだごみ」を分別して出す。										

合計点数
平均点数

5点=満点です。継続しましょう。 4点台=良好ですが満点をめざしましょう。 3点台=もう少しがんばりましょう。 3点未満=仲間と協力を! ※その月に該当しなかった項目には「-」を記入してください。

家族ごみ減量チェック票 (月分)

チェック項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
「ごみは「もやすごみ」や「そだごみ」を分別して出す。										
「資源ごみ」や「そだごみ」の箱、封筒などの紙は、お菓子の空き箱、パンフレット、封筒、ポスター、ティッシュの箱、カタログ、画用紙、たばこの空き箱、テーパーの紙袋を回収する。										
食べ残しはしない。										
生ごみは、きちんと水切りをして、お風呂の排水口に入れて捨てる。										
買い物にはマイ・バックを持参する。										
洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う。										
商品がなるべく買わない。										
ペットボトルや食品トレイなどの使い捨て商品はなるべく買わない。										
マイ箸を持っていく。										
食品トレイ、牛乳パックをスーパーで買った場合は、店頭のリサイクルボックスに返却する。										
家電製品、家具などが壊れたら修理して長く使用する。										

合計点数
平均点数

5点=満点です。継続しましょう。 4点台=良好ですが満点をめざしましょう。 3点台=もう少しがんばりましょう。 3点未満=仲間と協力を! ※その月に該当しなかった項目には「-」を記入してください。